

谷川中だより

令和8年9月15日(火)

大東市立谷川中学校

校長 村島 正浩

072-871-5471

◆ 1年生 合唱練習は続きます

文化祭での学年合唱に向けて、14日(月)には学年での発表を行いました。課題曲と自由曲、本番までの道のりは決して順調なものばかりではなく、みんなの気持ちがそろわなくて悩む場面もありました。しかし、そのたびに仲間で声を掛け合い、練習を重ねることで少しずつ心をあわせていきました。結果だけでなく、そこまでの道のりが大事です。来校いただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。



◆ 一人で悩まず、相談しよう

少しずつ暗くなる時間が早まっているこれからの時期、登下校時の防犯対策に加え、SNSをきっかけとしたトラブルなど、身近な危険への注意が必要です。谷中には、みんなの安全と安心な生活を守る強い味方がいます。教育委員会のアドバイザーで、警察官としての豊富な経験をお持ちの栗本さんです。

栗本さんは、毎週ではありませんが月に何度か授業の様子を見守ったり、生徒の個別の相談に乗ったりしてくれています。防犯や安全のプロとして、犯罪やトラブルから身を守るための具体的なアドバイスをいただける頼もしい存在です。「怪しい人に声をかけられた」「ネットで困ったことに巻き込まれそう」「誰にも言えない悩みがある」そんなときは、絶対に一人で抱え込んではいけません。栗本さんへの相談窓口は、生徒指導担当の先生や各学年主任の先生です。トラブルは小さいうちに、そして早めに相談することが解決への一番の近道です。いつでも遠慮なく先生方に声をかけてくださいね。



◆ 自転車通学は、認められていません

ほとんどの谷中生は、登下校のルールを守っています。地域の方にもあいさつができる、「感じのいい」中学生です。しかしながら、「横に並んで歩いているから、通路がふさがれる」「マンションに見知らぬ自転車が止まっていて不安」といった地域の方の声も寄せられています。**一人の行動が、学校全体の印象にもつながります。**保護者の皆様におかれましても、ご家庭で通学方法について今一度ご確認いただき、地域への思いやりある行動についてお話しいたしますようお願いいたします。

◆ 来週金曜は、第48回文化祭です

9月25日（金）は、ついに文化祭本番です。ステージ発表や展示作品の準備に、一生懸命取り組む姿が校内のあちこちで見られます。本番が近づくにつれて、「失敗したらどうしよう」「うまくできるかな」と不安になる人もいるかもしれませんが、しかし、その緊張感こそが真剣に取り組んでいる証です。舞台に立つ人は、ぜひその緊張を楽しんでください。大きな拍手を受けてやり遂げた経験は、きっとこれからの自信につながります。

俳優・タレントの大泉洋さんは、第一志望の大学に合格できず、北海学園大学に進学しました。当初は失意の中で入学したそうですが、「このままではいけない」と思い、演劇研究会に入りました。そこで後に「TEAM NACS」を結成する仲間たちと出会い、演劇の面白さに夢中になっていきました。この大学時代の演劇活動が、現在のお仕事の原点となっています。夢や進路は、特別な舞台だけでなく、学生時代の小さな挑戦から始まることもあります。

また、文化祭は発表する人だけのものではありません。鑑賞する人の態度によって、発表の価値は大きく変わります。静かに耳を傾けること、展示を丁寧にみること、温かい拍手を送ることも大切な参加の姿です。仲間の努力を認め、応援することって、相手だけでなく自分にとっても、気持ちのいいことです。

当日は、保護者や地域の方々も来校されます。普段のみんなの元気なあいさつや仲間を思いやる姿、真剣に取り組む姿こそが谷川中の良さです。一人ひとりが主役となり、見る人の心に残る楽しい文化祭をみんなでつくり上げていきましょう。



今年度の文化祭当日は、給食です。お間違えの無いように。